

様 式 F - 7 - 2

科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）実績報告書（研究実績報告書）

1. 機 関 番 号

1

4

6

0

3

2. 研究機関名

奈良先端科学技術大学院大学

3. 研究種目名

若手研究(B)

4. 補助事業期間

平成24年度～平成27年度

5. 課 題 番 号

2

4

7

3

0

7

1

2

6. 研究課題名

戦後日本社会における高等学校中途退学経験者のキャリア形成に関する実証研究

7. 研究代表者

研究 者 番 号	研究 代 表 者 名	所 属 部 局 名	職 名
30551999	スガサワ タカユキ 菅澤 貴之	教育推進機構	准教授

8. 研究分担者

研究 者 番 号	研究 分 担 者 名	所属研究機関名・部局名	職 名

9. 研究実績の概要

本研究の目的は、未解明な点が数多く残されている高校中退者のキャリア形成の実態について、計量的アプローチ（定量的分析）と質的アプローチ（定性的分析）を併用した「混交研究法」の採用により多角的な視座から解き明かすことにある。

補助期間の最終年度である平成27年度は、昨年度から実施している高校中退経験者に対するインタビュー調査を継続した。昨年度の計画では、平成27年度はインタビュー調査の対象者を近畿地区在住者以外にも拡張する予定であった。しかしながら、勤務校での校務等の関係から遠方への出張が困難であるため、平成27年度もインタビュー対象を近畿地区在住者に限定した。そこで、地域は限定されたものの都市部のみならず地方部に居住する者もインタビューの対象に加えるようにつとめた。さらに、昨年度の調査協力者の年齢は若年層に限られたため、40代前半から50代後半までの中高年層にも範囲を拡大し、計5名から調査協力を得ることができた。

これらのインタビュー調査の結果、バブル経済崩壊以降の地域社会（経済）の変容が高校中退経験者のキャリア形成に影響を及ぼしていることが判明した。そこで、地域社会学、地域経済学を中心に文献を狩猟し、論点把握につとめた。

科研費による本研究への補助は平成27年度をもって終了するが、今後も、補助期間に得られた知見を基盤として、高校中退者のみならず、大学中退者などを含めた中途退学経験者のキャリア形成に関する実証研究へと深化させていくこととする。

10. キーワード

(1) 高校中退

(2) キャリア形成

(3)

(4)

(5)

(6)

(7)

(8)

11. 研究発表

〔雑誌論文〕 計(0)件 / うち査読付論文 計(0)件 (最終年度分)

／うち国際共著論文 計(0)件 (最終年度分) / うちオープンアクセス 計(0)件 (最終年度分)

著 者 名		論 文 標 題				
雑 誌 名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著	
			<div></div> <div></div> <div></div>			
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)						
オープンアクセス						

〔学会発表〕 計(0)件 / うち招待講演 計(0)件 (最終年度分) / うち国際学会 計(0)件 (最終年度分)

発 表 者 名		発 表 標 題	
学 会 等 名	発表年月日	発 表 場 所	

〔図書〕 計(0)件 (最終年度分)

著 者 名	出 版 社		
書 名	発行年	総ページ数	
	<div></div> <div></div> <div></div>		

12. 研究成果による産業財産権の出願・取得状況

〔出願〕 計(0)件 (最終年度分)

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	出願年月日	国内・外国の別

〔取得〕 計(0)件 (最終年度分)

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	取得年月日	国内・外国の別
				出願年月日	

13. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計(0)件 (最終年度分)

国際研究集会名	開催年月日	開催場所

14. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

(1) 国際共同研究: -

15. 備考

--